

## 《報告書》

協働のまちづくりワークショップ  
全てのひとにやさしい  
「こどもにやさしいまちづくり」  
～西東京市子ども条例から考える～

日時：令和元年7月4日（木）

午後1時30分～4時30分

場所：西東京市役所 田無庁舎5階 502・503会議室

主催：西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ

# 目 次

1. 本事業の目的と概要 .....	1
1.1 本事業の目的.....	1
1.2 開催概要.....	1
1.3 プログラム.....	1
1.4 参加者.....	1
2. 内 容.....	2
全てのひとにやさしい「こどもにやさしいまちづくり」	
3. 資 料.....	2
4. アンケート結果（抜粋） .....	3

# 1. 本事業の目的と概要

## 1.1 本事業の目的

平成27年度から「協働のまちづくりワークショップ」として、従来の「啓発の場」や「交流の場」から一歩進められる「協働のきっかけの場」になるよう企画、開催している。

多者（マルチステークホルダー）協働の推進・基盤づくりに向けて西東京市の市民活動団体、行政、企業等の参加者がともに学び合うことで、互いの特性や違いを理解する。さらに、互いの利点を生かした協働による課題解決へのきっかけに結び付けることを目的とする。

行政職員は、研修として参加し、市民活動団体や企業等の参加者ととも「協働」について学び、互いの違いを理解し合い、協働の可能性に気付く機会とする。

今年度は、全てのひとにやさしい「こどもにやさしいまちづくり」を西東京市子ども条例から考え、協働でどのようなことが実現できるかを学ぶ。参加者それぞれが協働という手法を用いて地域社会を豊かにするための可能性を知り、具体的な推進目標を持つこととする。

## 1.2 開催概要

日時 令和元年7月4日（木）午後1時30分～4時30分

場所 西東京市役所田無庁舎 5階 502,503会議室

講師 首都大学東京 特任准教授 はやし だいすけ 林 大介氏

対象 西東京市の市民活動団体、西東京市職員（職員研修）

定員 60名募集（市民30名 職員30名）

## 1.3 プログラム

13時30分～ 挨拶

職員課 齋藤力信課長

ゆめこらぼ 小松真弓センター長

13時40分～ 講演・ワークショップ

首都大学東京 特任准教授 林大介氏

休憩

ふりかえり

16時15分～ 閉会挨拶

協働コミュニティ課 白井一嘉課長

アンケート記入

## 1.4 参加者

市民 23名 職員 25名

## 2. 内 容

### アイスブレイク

偏愛マップで自己紹介～自分を伝える、相手を理解する、共感する～



「自分の大好きなもの」をA4用紙1枚に自由に描きマップを作る。文字だけでも良いし、絵を入れてもよい。2人1組となりマップを使い自己紹介。相手を変えて3回行った。偏愛マップを使い、「自分を伝える、相手を理解する、共感する」ことを皆が体験した。それは笑顔で楽しい場へとつながった。

### 講 演

全てのひとにやさしい「こどもにやさしいまちづくり」



- ・18歳成人について
- ・日本の子どもの現状  
(内閣府「子ども・若者白書」より)
- ・今、私たちにできることは
- ・子どもの権利条約とは
- ・子どもの権利保障をすすめるために必要なこと

### ワークショップ ① 昔の子どものイメージと今の子どものイメージを書き出そう



昔の子ども（ピンク付箋）とイマドキの子ども（黄色付箋）についてのイメージを付箋に書いて貼る。  
昔→外で身体を使って遊ぶ  
今→ゲームで遊ぶ  
様々な意見がでた。

### ワークショップ ② 良いイメージと悪いイメージで分けよう



①ででた意見を良いイメージと悪いイメージで分けてみると、年代や環境により、良いと悪いのイメージは千差万別。意見交換することで全く違う見え方があることを実感。

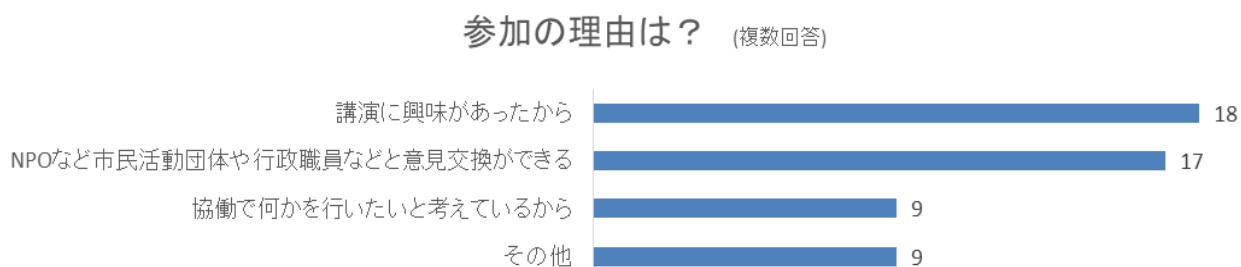
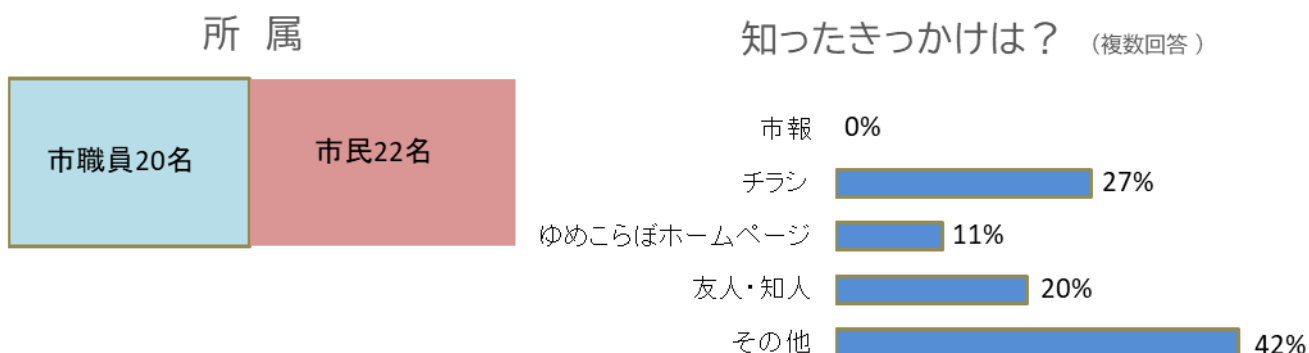
子どもを一人の人間として尊重する人権意識を持ち、子ども時代からの市民性の醸成が将来のまちづくりに大切なこと。理解した学びを協働で具現化して進めていくことは「全てのひとにやさしいまちづくり」に繋げていくこと等気づきの場となった。

### 3. 資料

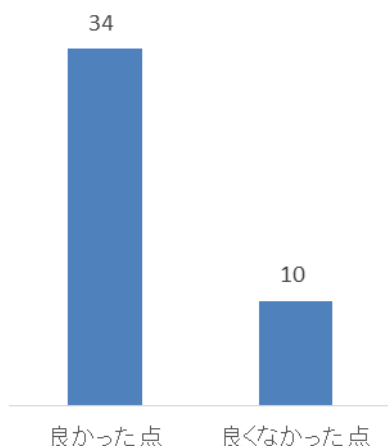
[資料はこちら](#)

### 4. アンケート結果

参加者：47名 総回答者数：42名



#### 全体の進行・運営についての意見 (自由回答)



#### 全体の進行・運営についての意見抜粋

##### 【良かった点】

- ・いろいろな人と話す機会になった。
- ・意見交換の時間が良かった。
- ・ワークをはさみながらの適格な情報提供。
- ・子どもたちのために取り組むべきことを話し合うことで非常に参考になった。
- ・時間配分等、しっかりしていただいて、とても良かったと思います。
- ・論点が明確で分かりやすかったです。
- ・アイスブレイクや講演、ワークショップが交互にあったので集中できた。
- ・自己紹介に時間をかなり割り当てたこと。

##### 【良くなかった点】

- ・全体の時間が短い。時間が足りなかった、仕方ないことですが。
- ・ワークショップと権利条例との繋がりがよく分からなかった。
- ・良い意味で緊張せず参加できた。
- ・まとめ(結論)がわかりにくかった。
- ・グループ内に団体の宣伝チラシを配っている方がいたこと。